

【施設状況】

グループ名称	若槻公民館								
指定管理者名	若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3377	若槻公民館							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	会議室(大・中・小) 各1、三登山ホール 1、料理教室 1、図書室 1、体育館 1								
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人学校の開設</li> <li>・各種講座の実施</li> <li>・講演会</li> <li>・展示会の開催</li> <li>・図書等を備えその利用を図る</li> <li>・貸館事業</li> </ul>								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」			指定回数	2 回
指定期間	平成31年4月1日	～	令和6年3月31日	5年	管理運営開始日 平成28年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)				

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
		利用者数	人	53,053	54,313	49,718	32,202	65%	3
		利用率	%	45.0	45.0	44.8	42.2	94%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項)									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若槻公民館の利用許可に関する業務</li> <li>・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務</li> <li>・若槻公民館の設備及び維持管理に関する業務</li> <li>・教育委員会が定める業務や受講料の收受に関する業務</li> <li>・若槻公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務</li> <li>・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務</li> </ul>							
	自主事業								
サービス維持・向上の取組み (広報等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館報 3回/年 発行。ホームページの更新やSNSを活用した情報発信を行い公民館活動の広報に努めた。</li> <li>・講座の開催等は、ホームページへの掲載、図書室利用者や支所への来庁者に読んでもらえるような講座のチラシの配置、マスメディア(新聞、市民新聞)を活用するなど新規受講者の増加を図ったほか、広報に努めた。</li> </ul>							

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
	(2) 調査、会議等の内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。</li> <li>・貸館利用へは、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。</li> </ul>		
(3) 調査、会議等の結果 【実施した各学級講座のうち3講座を抜粋】 「福ちゃんの料理教室」 募集60人 受講者51人中51人から回答 満足:96.2% やや満足:3.8% 「宮下先生の歴史講座」 募集150人 受講者125人中125人から回答 満足:88.9% やや満足:11.1% 「フレイル予防講座スポーツ吹き矢」 募集30人 受講者19人中19人から回答 満足:78.6% やや満足:21.4%			
利用者評価	(1) 良好とする評価 「福ちゃんの料理教室」 講師の丁寧な説明が人気を呼び口コミで参加者が増加した。また、年間を通して実施したため好評であった。 「宮下先生の歴史講座」 講師の豊富な知識が人気の講座で好評であった。 「フレイル予防講座スポーツ吹き矢」 初めて企画・実施した。健康でいつまでも元気で仲間と楽しく過ごせる場を提供することができ好評であった。		
	(2) 苦情・改善等の要望事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・古い施設のため2階に上がるための階段の蹴上が高く、高齢者には利用しにくい。エレベータも無く、トイレを利用するには1階に降りなければならない。</li> </ul>		
	≪対応措置≫ ・構造上の問題については、市と協議中。手助けが必要な利用者については、職員がその都度介助し対応している。		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	13,622,000	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	13,622,000	歳入 使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 貸付料 その他	7,120 12,000	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 貸付料 その他	
計	16,499,000	計	16,403,335	計	19,120	計	16,720		
支出	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	8,190,703 370,000 200,000 436,913 1,660,000 3,599,000 1,109,384 933,000	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	7,932,392 331,376 1,224,096 1,600,420 2,555,260 1,298,623 1,014,800	歳出 指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	13,622,000 2,800,000 166,100	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	13,325,000 2,800,000 393,120	
計	16,499,000	計	15,956,967	計	16,588,100	計	16,518,120		
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		446,368	差引	-16,568,980		-16,501,400	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								49.7%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績(うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事2人(2人)、事務職員1人(1人)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	1 住民自治協議会各部会と協力して事業を行い、地域全体との連携を図る。 2 小・中学校・保育園・児童館と連携し、公民館事業を推進する。 3 講座・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。 4 地域公民館の相談に対応し、連携を図る。	・住自協主催の「若槻総フェスティバル」に参加し、公民館と地域住民とが世代を超えて交流を深めることができた。 ・H30年度は、若槻公民館が募集した参加者と芋井公民館が募集した参加者が芋井地区の名所等をウォーキングしながらめぐり、交流を図ったが、今年度は、若槻地区を訪れ、地域探訪しながら交流を深めた。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>地域連携</p> <p>危機管理体制</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
<b>合計得点</b>			

評価理由	要望の多い講座は、年間をとおして開講するなど講座回数を増やし、学ぶ場の提供を行った。多くの事業後のアンケート結果が好評なことから「利用者評価」を「4」とした。 また、継続して芋井公民館との交流(昨年は芋井で、今年度は若槻地区を訪問)を行い、他地区の参加者と一緒に若槻地区をめぐる講座を展開、地域資源の活用を図ったことを評価し「地域連携」を「4」とした。
------	---

取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等(施設所管課)	新しい生活用様式を取り入れ、質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。
--------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

・実施した講座等に出席した受講者から任意で提出していただいたアンケートや直接いただいた声を聞き、次回の講座に意見を反映させ、より良い講座を提供することに心がけた。  
 ・誰もが安心していつでも利用できる施設づくりを目指し、施設の安全管理の徹底を図った。

② 業務の効率化に対する取組み

・職員数が必要最小限の人数であり、それぞれの業務がいつでも停滞せずに最大の効力を発揮できるよう業務分担の重複できる部分の構築を図るため、第一段階として予算関係の取組みに着手した。順次講座等及び事務全般に着手していく予定。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・長野市内で大規模災害が発生した場合(公民館が被災時)、各館には、それぞれ危機管理マニュアルが作成され対応することとなっているが、各館の被災状況や、被災した館への復旧支援対応(市公連の活用)などについて直営も指定管理も関係なく情報共有することが必要。復旧支援については、ボランティア登録の以前の問題で様々な問題があると思うがクリアーしていただき、台風19号の経験を活かし早急に復旧支援体制を樹立していただきたい。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

B

① 評価理由

・新規講座2講座(「フレイル予防講座スポーツ吹き矢」、「かんたんお掃除講座」)を実施した。  
 ・芋井公民館との交流講座を実施し、他公民館との連携を図ると共に、地域を超えて住民同士が交流する場を提供することができた。  
 ・親子を対象とした講座であるエンゼルクラブ(公民館主催講座)とお母さん何でもトーク(住民自治協議会主催講座)で共同企画した「クリスマスコンサート」を実施し、住民自治協議会との連携を深めると共に、より充実した内容の講座を参加者へ提供することができた。  
 ・料理教室にエアコンを設置したことにより、年間を通した連続講座を実施することができた。  
 ・利用者層の拡大を図るため、夜間講座(「サマーコンサート」)を実施した。

② 次年度以降の取組み

・「出会い・ふれあい・学びあい」をキャッチフレーズに、絆をより大きく育てられる講座や学習を積極的に推進し、親子・地域の方が共に、人づくり・絆づくりができるよう学びの場、交流の場として親しみやすく明るい公民館づくりをめざします。  
 ・公民館を利用される皆さんが、ともに学び、ともに楽しみ、ともに育み、いつも笑顔で思いやりのある心と豊かな感性を育てる講座や健康学習などを積極的に推進し、世代を超え地域の皆さんが利用しやすい公民館をめざします。  
 ・地域と連携し公民館活動の推進を図ります。